

本館 4 階の窓から

令和 2 年 5 月 7 日

当面 5 月 6 日までとされていた緊急事態宣言が、残念ながら 5 月 31 日まで延長されました。生徒のいない高校ほど寂しいところはありません。

とてもいいお天気だったので、一年生が学ぶ、本館 4 階に上がってみました。

廊下から北西側を見ると、新緑の六甲山を背負った講堂棟と芸術館が見えます。その上の青空がとても鮮やかです。

教室に入って南東側の窓から外を見ます。東から南の方へ眺めていくと、眼下の茅渟^{ちぬ}の海の向こう遥かに、大阪の街並み、あべのハルカス、生駒山系、そして紀伊半島まで見渡せます。

順に 3 階・2 階と降りていくと、担任の先生が空気を入れ換えるために開放して下さった教室の窓から、5 月の風が心地よく吹きわたります。

「神高生のみんな、何とか頑張ってこの状況を乗り切ろうなあ」そう叫びたくなりました。早く、この校舎で一緒に勉強できるようになりますように。



本館 4 階から見える北西側の様子



本館 4 階から見える南東側の様子